

【就労事例部門】

入 選 社内障がい当事者グループ

障がい当事者が創るチャットグループ

視覚障がいの従業員でチャットグループをつくり、様々なコミュニケーションの場を提供しています。

これまで障がいを持つ従業員は個々の職場で奮闘してきました。障がいが理由で業務が難しくなったときには社外の何らかの機関に頼るしかなく、またどんな機関に相談すればよいかも共有されていませんでした。

そこで、障がい当事者だけでチャットグループを作ることにしました。新しく導入される社内システムのアクセシビリティや、画面読み上げソフト（画面に表示される文字や画像を読み上げるソフトウェアのことで、スクリーンリーダとも呼ばれます）の使い方などの情報交換をしています。参加者が障がい当事者なので失敗を恐れる必要がなく、チャットの練習にもなっています。7月下旬に発足して10月中旬の現在までほぼ毎日、通算400件近くの投稿があります。ときには障がい当事者としての思いを吐露する場所にもなっており、理解ある人が社内にいるという安心感を持つことで、メンタル的にも支えになっていると感じています。

現在は視覚障がい者のメンバーで構成されていますが、今後は別の障がいの方も加わっていただき輪を広げていきます。

審査員コメント

社内SNSをきっかけとして、人事部の社員の方と一緒にグループづくりをされたこと、チャットグループをうまく活用されていること、他の障害をお持ちの社員にも間口を広げようとしている点など、ICTのメリットを最大限活用した、素晴らしい事例だと思います。他の企業のモデルとして、このような当事者グループの取り組みが広がってほしいです。

社内障がい当事者グループ

グループ企業で働く障がい当事者の有志で構成されており、職種はシステム開発、マイコン設計、総務部、技術部スタッフなど様々です。2013年7月よりTeamsのチャットグループを活用し結成しました。